

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 1 月 16 日 (18 : 30 ~20 : 00)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	森・坂楨・武者・古畑・大槻・田仲 ・藤本・石井・島田・小林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6 人	5 人	0 人	0 人	0 人

前回の改善計画	新規利用者に関しては、申し送りに参加出来ない場合、必ず利用前に事前のフェイスシートや手順書の回覧に目を通し、情報収集を自ら行っていく。必要な情報などは記録に記載をし、業務前に記録や申し送りノートに目を通し情報を入れてから業務に入る。
前回の改善計画に対する取組み結果	日々の記録の読み落としはあるがスタッフ間で日頃情報共有ができています。大事なことや伝えなければいけないことは申し送りノートに記載して漏れの防止に努めている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	6	0	0	11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4	7	0	0	11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	6	5	0	0	11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	8	1	0	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
新規利用の情報は事前にきちんと提示されるので情報収集がきちんと行えている。 ニーズとサービスが合っているのかということも本人や家族、支援者(事業所や他事業所)へ確認するように心がけている。 なるべく新規の方には不安にならないようコミュニケーションを積極的にとっています。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
情報の把握も職員それぞれ個人差もあり支援のズレもある。 現場スタッフは家族の困りごとを把握するのは難しいことが多い。 必要な情報を記録に落とせていないこともある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
直接ご家族とやりとりをするチャンスは少ないのでケアマネや管理者から情報を得てご家族に提案ができたり確認をしていくこと。管理者かケアマネも会議以外でも情報を現場スタッフに共有する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 1 月 16 日 (18 : 30 ~20 : 00)
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	森・坂槇・武者・古畑・大槻・田仲 ・藤本・石井・島田・小林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	4 人	5 人	0 人	11 人

前回の改善計画	自己実現への支援の為には利用者の目標を把握し、実現していく為に日々の口頭での情報共有、必要であれば少人数でもミーティングを開くことが出来る。ライフサポートプランについて学ぶ機会を作り共通理解を図っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	3	3	5	0	11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	7	3	0	11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	3	7	1	0	11
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	5	4	0	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
会議のときに確認の意味も含め個々のご利用者のライフサポートプランの読み合わせをしている。本人と介護者の意見が一致しない場合は本人の意向が尊重されるように配慮をし、互いに合意できる部分を見出せうように双方へ働きかけはしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
会議に参加できない職員がいる。 一日一日を無事に過ごすことでいっぱい本人の望んでいることややりたいことまで支援できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
実現や実施を考えるのはひとまず置き、本人が生活するうえで何がしたいか? どうしたいのかを本人の様子、言葉、表情や意思、家族からの情報など多角的な視点を持つことでわかることを目指す。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 1 月 16 日 (18 : 30 ~20 : 00)
3. 日常生活の支援	メンバー	森・坂楨・武者・古畑・大槻・田仲 ・藤本・石井・島田・小林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	4 人	7 人	0 人	0 人	11 人

前回の改善計画	その利用者ならではの固有の情報が共有できるよう日々の関わりから記録に載せることができる。またその情報を基に変化にも気づくことができ、支援していくことができる。
前回の改善計画に対する取組み結果	記録漏れや情報共有がしっかりできていないこともあったが、おおまかに重要なことは周知できていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか？	2	2	6	1	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	9	2	0	0	11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	3	4	4	0	11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	6	5	0	0	11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	6	5	0	0	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
支援内容について変更があれば申し送りノートや手順書にも記載している。 体調や気持ちの変化については本人のみならず家族の変化も観察し必要に応じ確認するように心がけている。 利用が長い方もいるので利用者によっては以前の暮らし方を答えられるスタッフもいる。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
サービスに入らない時間の利用者の過ごし方について十分把握できていない。 スタッフが個々で気づいている情報もチームで共有されていない。 その日出勤していない場合のスタッフが翌日以降情報を把握していないことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
点ではなく線での生活を捉えるように日々の関わりから本人に能力や変化に気づき、情報を共有できるよう記録以外にもできる方法を見つけて支援を深くしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 1 月 16 日 (18 : 30 ~20 : 00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	森・坂楨・武者・古畑・大槻・田仲 ・藤本・石井・島田・小林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	3 人	7 人	1 人	0 人	11 人

前回の改善計画	フェイスシートやケアプランをもう一度目を通し、日頃の関りから生活スタイルや人間関係、地域での役割や生きがいを理解していくことに努める。知り得た情報は共有し、次に活かせるよう記録に残すことや会議の場で伝える。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域というのが課題。本人と地域、事業所と地域の関係など関係が薄いことや地域に対して自分たちがどうしていけば良いのか明確なものが出ない状況。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	3	6	2	0	11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	2	6	2	1	11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	2	2	6	1	
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	2	1	7	1	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 日々の関わりから利用者の生活スタイルや生きがいへの理解に努めることができている。 ケアマネ中心になるが地域との関わりを持てるようにしている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること フェイスシートやケアプランはある程度抑えていると思うがその情報からのヒントや支援方法まではたどり着いていない。 よりみちのイベントも増えてきているが利用者が参加できる場であるのかは分からない。 地域との関わりはほぼできていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 日々の関わりの中から今までの本人の暮らしぶりを本人や家族から自分から情報聞き取り、本人の今までの暮らしやスタイル、地域との関係を知り理解をしていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 1 月 16 日 (18 : 30 ~20 : 00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	森・坂楨・武者・古畑・大槻・田仲 ・藤本・石井・島田・小林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	4 人	4 人	3 人	0 人	11 人

前回の改善計画	「よい変化」または強みに着目出来るよう日々様子を記録に載せ、会議でも共有することができ、更に本人の役割や生きがいと思えるような支え方ができる。 梓川地区の回覧には目を通し資源を知る。
前回の改善計画に対する取組み結果	地区の回覧は目を通すようになり地区の取り組みがわかりやすくなった。生きがいと思えるな支援とは到底届いていないが出来ることは役割としてやっているに留まる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	4	6	1	0	11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	4	7	0	0	11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	5	5	1	0	11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	5	6	0	0	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
当日な急なサービス変更にはほぼ応えることができています。 今までの生活で慣れ親しんだ医者、スーパー、美容院などできる限り変更せず支援している。 支援が必要だと思われる際には、事業所側からもサービスの提案を適宜行っている。 本人ができる役割はお願いして役割としてやってもらっている。 梓川地区の回覧物目を通してしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
「よい変化」ではなく「できない変化」に意識がいつてしまう。 会議棟集まれる時間が無いため共有できる内容も限られてしまう。 ニーズに応じたサービス提供という点では調整が不十分な点もある。 事業所以外の資源活用。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
本人の強みを把握し、事業所でも自宅でも活かせる支援をする。事業所としての柔軟な支援ができるように本人や家族の変化に気づき、必要なことや必要な量の支援を適切に行うことができること。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和 7 年 1 月 16 日 (18 : 30 ~20 : 00)
-----	------------------------------------

6. 連携・協働

メンバー	森・坂楨・武者・古畑・大槻・田仲 ・藤本・石井・島田・小林
------	----------------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	6 人	1 人	0 人	11 人

前回の改善計画	事業所が地域で活動できるよう、町会長や民生委員、地域包括とは密に連携を図っていく。 地域の方が気兼ねなく事業所に来ることが出来るよう日頃から地域の方への挨拶、付き合いを大事にする。
前回の改善計画に対する取組み結果	さんぽみちとよりみちの融合があまりできていない。業務もある為よりみちの活動に参加しにくい、地域の方とそう関われば良いのかわからなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか?	6	2	1	0	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	3	1	2	3	9
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか?	1	1	5	3	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	5	4	2	0	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
併設しているコミュニティスペースよりみちの催しなどに利用者が参加できる機会もある。よりみちのイベントを通じて地域の方から親しみやすい場所となってきたのでは？包括主催の研修に参加したり利用者の支援を行う上でも継続的な相談を行い必要に応じ会議を行っている。より地域で生活する高齢者や介護者の声を聴くために介護者の集いを定期的に開催することを検討している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域の催事に全く参加していない。よりみちでのイベントではなくさんぽみちの企画に地域の方を呼んでいることがない。さんぽみちのスタッフがよりみちのイベント内容を知らない。さんぽみちのイベントに参加してもらえたら。管理者、ケアマネに任せっきり。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
さんぽみち企画のイベントに地域の方を呼ぶ。よりみちを目的に来てくれた来客にさんぽみちをアピールできるようにする。スタッフはよりみちのイベントに関わること。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和 7 年 1 月 16 日 (18 : 30 ~20 : 00)
-----	------------------------------------

7. 運営

メンバー	森・坂楨・武者・古畑・大槻・田仲 ・藤本・石井・島田・小林
------	----------------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	5 人	0 人	0 人	11 人

前回の改善計画	会議では声を出して運営方針を読み上げ意識付けをする。地域に開かれた運営を目指す為にさんぽみち会議では運営推進会議で挙げた議題についても検討するようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	計画通り行っていた。地域に開かれたという部分ではよりみちだけになってしまっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	3	4	3	1	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	6	0	0	11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	5	2	1	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	5	2	4	0	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
理念の唱和は毎日とはいかないが、会議のときはできている。 運営推進会議の内容をスタッフに伝え地域のことも関心をもてた。 運営推進会議では地域課題のことも町会長さんや民生委員さんか議題があがる。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
登録利用者の伸び悩み。問い合わせが少なく運営に支障が出る。 地域の方からの意見が反映できているのか不明。 さんぽみちとして地域貢献として何かできているのか?	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
運営推進会議の内容は引き続き会議で内容を伝え、その中でさんぽみちとして何に取り組むことができるが議論することができる。管理者やケアマネ以外のスタッフから地域に関しての意見を挙げるができること。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 1 月 16 日 (18 : 30 ~20 : 00)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	森・坂楨・武者・古畑・大槻・田仲 ・藤本・石井・島田・小林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7 人	3 人	1 人	0 人	11 人

前回の改善計画	職場内研修（法人内研修も含む）は計画的に予定を組み実施し、質の向上に取り組む。重大事故を出来る限り防ぐ為、ヒヤリハットを挙げるように職員に働きかけ、挙げたヒヤリハットを職員内で周知し、再発防止に取り組んでいく。
前回の改善計画に対する取組み結果	ヒヤリハット件数が前年度より増えている。その分意識を持っていたと思われる。予防的なヒヤリハットも増えていた。計画的に内部研修が行えていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	5	5	0	1	11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	6	2	2	1	11
③	地域連絡会に参加していますか	2	3	1	4	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	6	4	0	1	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
前年度と比べ外部研修に参加できるスタッフが増えた。 連絡会に加入しているため最新の情報交換による質の向上につながっている。 ヒヤリハット件数が前年度より増えていることと、再発防止に努められている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
実際ヒヤリハットのような事例があってもヒヤリハットとして挙がっていないことがある。 ヒヤリハット、事故報告を挙げるスタッフの偏りが大きい。 内部研修に参加できていないスタッフへの周知方法が決まっていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
スタッフが最低でも年に一度は外部研修に参加できるようにするため研修案内を上司の方から積極的に促す。内部研修は現在のさんぽみちの課題に見合った研修企画をし、さんぽみち会議外でも研修が開催できるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和 7 年 1 月 16 日 (18 : 30 ~20 : 00)
-----	------------------------------------

9. 人権・プライバシー

メンバー	森・坂槇・武者・古畑・大槻・田仲 ・藤本・石井・島田・小林
------	----------------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6 人	3 人	1 人	0 人	10 人

前回の改善計画	利用者について話しをするときは利用者の前や後ろで話しをするのではなく、ステーションで話すなど場所を弁えること。トイレの介助や誘導をするときは使用中の札の確認、ロックをする、ドアの開け閉めに注意を払いプライバシーを守ること。
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	11	0	0	0	11
②	虐待は行われていない	11	0	0	0	11
③	プライバシーが守られている	7	4	0	0	11
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	3	1	2	10
⑤	適正な個人情報の管理ができています	5	6	0	0	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束や虐待にあたるようなケアはなく支援できている。 ステーションにある個人情報の書類も意識して見えないようにしている。 トイレは中が見えないように配慮したり大きな声でトイレに誘うこともなくなった。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
認知症の方に対する接し方で倫理観などは知識や認識が薄いかもしれない。 利用者が近くにいる状況で他利用者の話しをしてしまうことがある。 利用者の持ち物の確認を個人に了解を得ずしてしまっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
利用者個人の持ち物を確認する際は本人に了承を得る 利用者との会話では、プライバシーや尊厳に配慮し、大声や近くで話しをしない。	